

これから中川村がめざすこと

「日本で最も美しい村」連合の運動は、単に環境や美観を保護することだけが目的ではありません。村の良さ、魅力、可能性をもう一度見つめなおし、それをうまく生かして村外の皆さんにも喜んでもらい、村のよさを大切にしながら村を発展させていこうという運動です。

中川村には、先人から受け継ぎ、大事に守ってきた自然、文化や美しい景観があります。

中川村は今後、他の加入町村・地域とも連携し、連合関係者の御指導をいただきながら、村の魅力を発見し、みがいて、真に「美しい村」と言っていたけよう村を挙げて取り組んでまいります。



上宮外神社の御柱



どんど焼き



柳沢の風祭り



俳人・井上井月の句碑



道祖神



八幡神社の獅子舞



中川村は「日本で最も美しい村」連合に 加入しました。

長野県 上伊那郡 中川村

〒399-3892 長野県上伊那郡中川村大草4045-1 TEL(0265)88-3001(代) FAX(0265)88-3890
<http://www.vill.nakagawa.nagano.jp/> E-mail:info@vill.nakagawa.nagano.jp

村民一丸となって「日本で最も美しい村」へ

「中川村も、『日本で最も美しい村』連合に入りませんか？」

お隣、大鹿村の中川豊村長からお誘いを受けたときは、正直に申し上げると戸惑いました。南北朝の歴史や歌舞伎など数々の観光資源に恵まれた大鹿村に比べて、中川村にはそれほど世に知られた名所はない、と思ったからです。

しかし、じっくりと考えてみれば、私自身が、中川村の四季折々の美しさ、人々の暮らし振り、やさしい気持ちに感動して移住してきたわけですし、中川村は、今はさほど有名ではないかもしれませんが、現に美しいし、また多くの可能性を秘めています。

かねてから、中川村の一番いい発展のあり方は、村の魅力を大切にしつつ生かして、それを外へ売り出していく内発的発展だ、と考えていました。「日本で最も美しい村」連合の考えも、まさにこれと同じです。思い切って手を挙げて、村内視察を受け、連合に加えていただけることになりました。

「さすがに日本で最も美しい村だ」。そう言うていただくには、今後たくさんの努力を積み重ねなければなりません。まず自分たちの村の美しさに気づくこと。そして、それを守り、上手に村外へ提供すること。幸い村には、既に多くのユニークな取り組みがあります。そういった活動の裾野をさらに広げ、連合役員の皆さんやサポーター企業のアドバイスをいただきながら、連合加盟の他の町村・地区とも連携し、村民一丸となって、名実共に「日本で最も美しい村」になるよう頑張っていきたいと存じます。

中川村長 曾我逸郎



NPO(特定非営利活動)法人「日本で最も美しい村」連合とは (連合ステートメントより)

近年、日本では市町村合併が進み、小さくても素晴らしい地域資源をもつ村の存続や、美しい景観の保護などが難しくなっています。NPO法人「日本で最も美しい村」連合は、失ったら二度と取り戻せない、そんな日本の農山村の景観や環境・文化を守る活動をはじめました。お手本にしたのは「フランスで最も美しい村」活動。いま、イタリア・ベルギーなども加え、地域文化の活性化は世界的なムーブメントになっています。

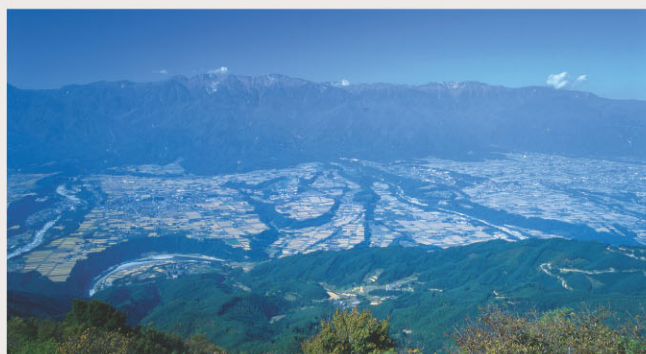
私たちは、小さくても輝くオンリーワンをもつ農山村が、自らの町や村に誇りをもって自立し、将来にわたって美しい地域であり続けるのをお手伝いします。具体的には「日本で最も美しい村」のシンボルマークを、日本のみならず世界的にも観光地や文化地域としての目印にするのが目標です。フランスではマークがガイドブックや地図に載るほど、有名な活動に成長しています。

自然と人間の営みが、長い年月をかけてつくりあげた小さな本当に美しい日本は、いまならまだ各地に残されています。それらを慈しみ、楽しみ、そしてしっかりと未来に残すために、自らの地域を愛するみなさんにご協力いただきながら、2005年10月に7つの村からスタートしました。

中川村の魅力と「日本で最も美しい村」連合の審査意見

連合のいう「地域資源」とは、地域に存在する「先人から受け継ぎ、形づくられてきた景観」や「豊かな自然をつくれるうえでの多様な動・植物が生息できる環境」、「先人から受け継がれてきた生活文化、伝統的な建造物」などです。

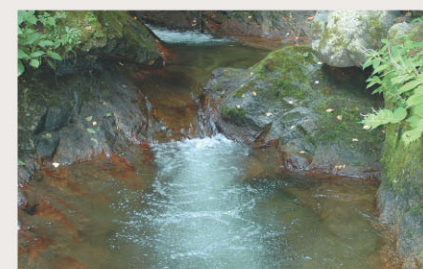
連合が当村の加入申請時に行った審査の結果、地域資源を含め以下のようなご意見をいただきました。



陣馬形山頂より晩秋の伊那谷を望む



天竜川の支流・前沢川が刻んだ谷



四徳地区の清流

「貴村は、地域資源である陣馬形山からの景観、段丘と里山、四徳地区と四徳川の景観、何れも素晴らしい素材が揃っています。

しかし、村民はまだその素晴らしさに気づいておらず、それを活用しようとする住民活動も芽生えつつありますが、まだ積極的に活用しているとは感じられませんでした。また、来訪者を迎えるための案内看板や駐車場の不足解消、電柱の地中化などのハード面の整備はこれからの課題と思われます。

ただし、持っている地域資源、特に、日本アルプスの山々を一望できる陣馬形山からの景観の質の高さは大変素晴らしく、「日本で最も美しい村」連合入会のための資格基準を満たしていると判断されます。

「日本で最も美しい村」連合の地域資源の定義は、「人々の生活の営みによって作り出されてきた景観、環境、文化」です。地域資源を保全し、活かしながら、共に「美しい村」運動を盛り上げていきましょう」

「日本で最も美しい村」連合に加盟するには、以下の条件をクリアする必要があります。

- 直近の国勢調査人口が、概ね1万人以下であること。
- 人口密度が1平方キロメートルにつき50人以下であること。
- 次に定める地域資源が2つ以上あること。
 - ア・景観 生活の営みによりつくられた景観をいう。
 - イ・環境 豊かな自然や自然を活かした町や村の環境をいう。
 - ウ・文化 昔ながらの祭りや郷土文化、建築物などをいう。
- その他、地域資源を活かす活動を連合が評価し決定する。
 - 美しい景観に配慮したまちづくりを行っている/住民による工夫した地域活動を行っている/地域特有の工芸品や生活様式を頑なに守っている/その他

詳しくは<http://www.utsukusii-mura.jp>をご覧ください。

2008年10月、新たに7つの仲間が参加。「最も美しい村」は、18村になりました。

- 1 北海道 美瑛町(事務局)
- 2 北海道 赤井川村
- 3 山形県 大蔵村
- 4 岐阜県 白川村
- 5 長野県 大鹿村
- 6 徳島県 上勝町
- 7 熊本県 南小国町
- 8 宮崎県 高原町
- 9 長野県 木曾町開田高原
- 10 北海道 標津町
- 11 岐阜県 下呂市馬瀬
- 12 北海道 鶴居村
- 13 北海道 京極町
- 14 山形県 飯豊町
- 15 長野県 中川村
- 16 長野県 南木曾町
- 17 京都府 伊根町
- 18 高知県 馬路村

